



社会貢献活動への取り組み

「地球温暖化防止と日中友好の森」ならびに「日本触媒・水源の森」づくり活動

株式会社日本触媒（社長：近藤忠夫、大阪府中央区）は、CSR活動の一環として取り組む社会貢献活動のテーマを「みどり」と位置づけ、その活動の柱として、環境保全活動を推進しています。2008年度は全社的な活動として新たに、中国・内モンゴル自治区での「地球温暖化防止と日中友好の森」づくり植林活動や日本国内での「日本触媒・水源の森」森林整備活動に取り組んでいます。

◇「地球温暖化防止と日中友好の森」づくり活動スタート

去る10月13日、中華人民共和国内モンゴル自治区エジンホロ旗において開所式を行い、NPO法人地球緑化センターなどのご協力のもと「地球温暖化防止と日中友好の森」づくり活動植林ツアーを実施しました。

「地球温暖化防止」が21世紀の課題とされ、地球の砂漠化が深刻な問題となっているなか、当社では中国内陸部の砂漠化（ゴビ砂漠）の進行を防止する活動に取り組んでまいります。

中国・内モンゴルにおける「地球温暖化防止と日中友好の森」づくり活動は、当社の従業員がボランティアとして現地に赴き、植林を行い、自らの手で作り上げていく活動です。

内モンゴル自治区伊金霍洛（エジンホロ）旗人民政府とNPO法人地球緑化センターの方々が取り組んでいる緑化活動に協力し、かつての大草原や森林を取り戻していきたいと考えています。

「地球温暖化防止と日中友好の森」づくり活動の植林ツアー

実施日	2008年10月11日（土）～17日（金）
場所	中華人民共和国内モンゴル自治区エジンホロ旗
面積	10ha
活動内容	開所式 植林作業
協力	NPO法人地球緑化センター 社団法人 国土緑化推進機構 伊金霍洛旗人民政府 林業局
参加者	当社から現役社員、OB、関係者23名、地球緑化センター3名、 国土緑化推進機構1名、内蒙古大学日本語学生4名の総勢31名

活動場所として選んだ内モンゴル自治区エジンホロ旗は北京から西北に約800キロの内モンゴル自治区南部、黄河中流域に位置する標高1,000m超のオルドス高原ゴビ砂漠南部モウス砂地で年間降雨量が300mmという半乾燥地域。

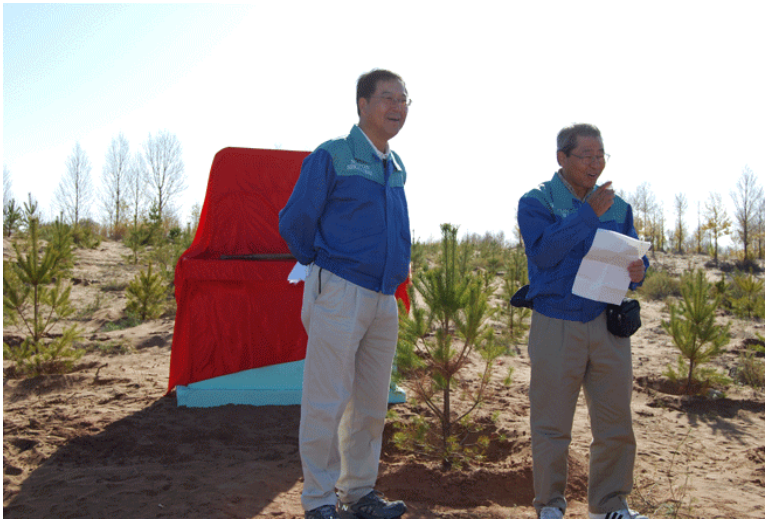
1993年地球緑化センターが中国科学院の紹介で砂漠緑化への協力活動を開始して以来、これまでの総緑化面積は1,500haに達しています。

地図：中国・内モンゴル自治区エジンホロ旗



写真：植林活動、記念碑





◇「日本触媒・水源の森」づくり活動のお知らせ

国内においては、来る11月15日に氷ノ山後山那岐山国定公園内の赤西（あかさい）溪谷において開所式を行い、NPO法人ひょうご森の倶楽部などのご協力を得て、「日本触媒・水源の森」づくり活動をスタートします。

当社はこれまで兵庫県花のじぎくの保存活動や工場周辺の清掃活動、近隣園児へのいも畑の開放など各事業所が中心となって社会貢献活動に取り組んでまいりました。

このたび全社的な取り組みとして国内では2008年度より「日本触媒・水源の森」づくり活動を下記の通りスタートすることになりました。

記

実施日	2008年11月15日（土）
場所	兵庫県宍粟市波賀町原地内赤西溪谷
活動時間	10：40～15：30
イベント内容	開所式 森林整備作業、森林観察会他
協力	NPO法人ひょうご森の倶楽部

活動場所として選んだ赤西溪谷は当社姫路製造所が面する揖保川の源流のひとつで樹齢150年を越える木々が茂る天然の森。ひょうご森林浴場50選にも選定されており、紅葉の名所地としても有名です。この美しい森を次代に残していけるよう整備し守っていくことで、地球温暖化防止だけでなく、川や海を豊かにし、自然災害の防止にもつながると考えています。

また、従来から行われている人工林や里山林での取り組みと違い、国有林としての自然林を対象とした保全活動は全国でも希であり、貴重なモデルケースとして兵庫森林管理署からも期待されています。

以上

<詳しくは添付のパンフレットをご参照ください。>

また、これらの活動以外でも2008年から新疆林業科学院(中国林業局、中国林業科学院、新疆分院)から砂漠化防止技術研究プロジェクトへの協力要請をうけ、同プロジェクトに参画して、当社の高吸水性樹脂（SAP）を使用した植林実地試験を実施しています。

当社ではこのような環境保全活動、地域社会への活動などを通じて社会や地域との共生を目指し、企業理念「テクノアメニティ」に沿って、「よき企業市民」として社会的責任を果たすため、地域社会をはじめとするステークホルダーの皆さまの利益と発展を考慮した社会貢献活動を推進してまいります。

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒

総務部総務グループ

TEL:06-6223-9111 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋 4-1-1

総務部広報グループ

TEL:03-3506-7605 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2



日本触媒・水源の森づくり



日本触媒

目的



日本触媒は、CSR活動の一環として取り組む社会貢献活動において、21世紀の課題である地球温暖化防止に資することを目的として、兵庫県宍粟市の赤西溪谷に広がる国有林の1部を借り受け、「日本触媒・水源の森」と名づけ、当社社員のボランティア活動により、その豊かな森の保全に努めていこうと考えています。

そして、社員が森と触れ合うことで、森の良さ、森の大切さを知り、1人ひとりが森や環境について考え、自ら行動できる人づくりもできればと思っています。また、この活動を通じ、地域社会の方々との交流を広げていきたいと思います。

森との繋がり



当社の基幹工場である姫路製造所は揖保川河口に位置しており、揖保川の水を利用し、生産活動を行っています。その豊かな揖保川の源流のひとつである赤西溪谷の水源涵養林(注1)を保全することで、その流域の地域へ、揖保川を通して、様々な繋がりが持てると考えています。

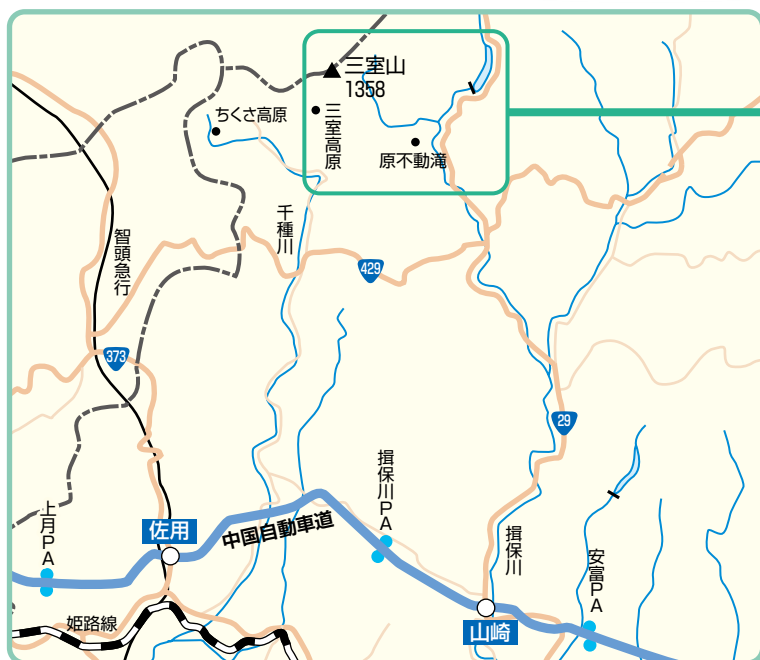
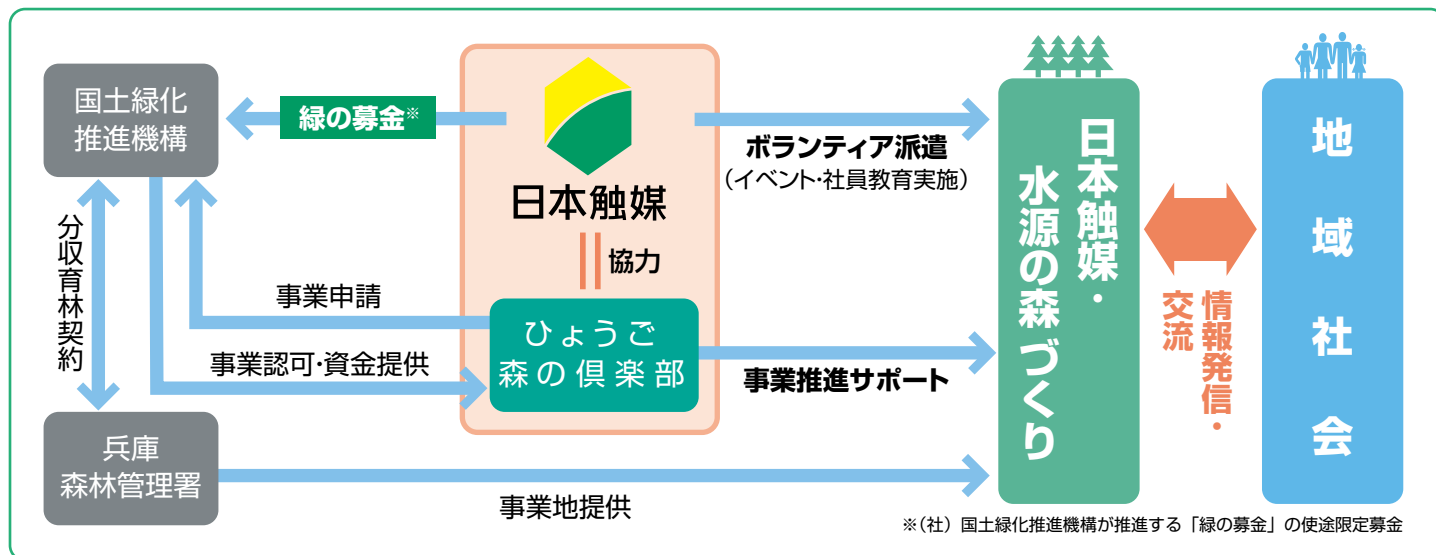


活動内容



- **森林整備活動**：倒木整理、下草刈り、種子の育成、遊歩道づくりなど
- **環境教育活動**：観察会、ワークショップ、セミナーなど
- **交流活動**：イベントを通して社員や家族のレクリエーションや地域との交流を図る
- **研修活動**：社員への環境教育

森づくり活動推進スキーム



※地域の皆様もご参加いただき、「日本触媒・水源の森」づくり活動にご協力をお願い致します。

社会貢献活動方針

企業理念「テクノアメニティ」に沿って、「よき企業市民」として
社会的責任を果たすため、地域社会をはじめとするステークホルダーの皆様の
利益と発展を考慮した社会貢献活動を推進します。

株式会社 日本触媒

大阪本社

☎541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1興銀ビル
TEL.06-6223-9111(総務部) / FAX.06-6201-3716
E-mail:shokubai@n.shokubai.co.jp

■協力

特定非営利活動法人 ひょうご森の倶楽部

☎650-0004 神戸市中央区中山手通4-1-11-201
TEL&FAX.078-321-0049
E-mail: moriclub@pearl.ocn.ne.jp